

さいたま市立の全ての学校で コミュニティ・スクールがはじまりました！



Q コミュニティ・スクールって何？

「学校運営協議会」を設置した学校のことだよ。

学校運営協議会では、地域住民や保護者の代表の方々が、教育の当事者となって学校運営や学校への支援について、子ども達のために話し合いをするんだ。地域住民や保護者の方々の意見が学校運営に反映されることで、地域に根差した特色ある学校づくりが進んでいくよ。それは、地域の未来を担う人づくりや未来の地域づくりにつながるんだよ。



Q 学校にはチャレンジスクールや交通安全、読み聞かせなどボランティアさんがたくさん来てくれているけど、コミュニティ・スクールになると何が変わるの？

さいたま市では、毎年約3万人を超えるボランティアさんがスクールサポートネットワーク*の一員として学校を支援してくれているんだ。これからは、学校運営協議会で話し合われた目標やビジョンを実現するために、力を合わせて協働していくことになるから、学校・地域の学びがさらに充実するんだよ。

Q コミュニティ・スクールになるとどんな効果があるの？

コミュニティ・スクールは、学校と子どもを中心として、できるだけ多くの人がつながり、自分の経験や知識を生かすことで学校や地域を元気にする仕組みなんだよ。だから、次のような効果が期待されているよ。



児童生徒には・・・



- 学校内外の学習環境がより豊かになります。
- 地域への愛着が芽生え、地域の担い手としての自覚が生まれます。
- 多くの大人の姿をモデルとし、自分たちが学んだことを生かして生活や地域の課題を解決しようとしています。

保護者には・・・



- 学校や子どもを核としてつながった保護者同士や、地域の人達との絆が、多くの人に見守られて子育てをしているという安心感を与えてくれます。
- 学校や地域への理解が深まり、愛着が高まります。

学校（教職員）には・・・



- 地域住民や保護者の理解と信頼を得て、充実した学校運営が実現します。
- 子どもの成長に対する責任を分かち合い、役割分担が適切に図られることで、教職員が子どもと向き合う時間の確保につながります。

地域住民には・・・



- 学校に地域の人々が集い話し合い、共に課題解決に取り組むことで緩やかなネットワークがつけられ、地域全体の活性化につながります。
- 学校や子どもを核としてつながった仲間や団体同士の活動が、地域の人々に安心感と生きがいを与えます。

では、学校運営協議会でどのようなことが話し合われているか、見てみよう。

- 会長** どのような子ども達に育ってほしいですか。
- 住民A** 大きな声であいさつができる子に育ってほしいな。
- 保護者A** 知らない人にあいさつさせるのは不安があるわ。
- 住民B** 大人があいさつできないと、子どももあいさつしないのでは。
- 校長** あいさつするためには、コミュニケーション力や相手を思う気持ちなどが大切ですね。
- 住民C** あいさつができる子どもが育った地域は、顔見知りが増えて、防犯や防災に強く、安全で安心して暮らせる地域になるね。
- 会長** では、学校、地域、家庭でどのような仕掛けをつくれればよいか、知恵を出し合いましょう。

学校のことだけでなく、地域のことや、子どもから大人達のことまで話し合われていてびっくりした。これから、学校や地域が変わっていくかもしれないね。楽しみだな！自分達も学校や地域のために何ができるか考えてみるよ。

コミュニティ・スクールを中心に、学校や地域の大人と子どもがつながることで、学校づくりや地域づくりの可能性が広がってくるよ。
さいたま市では、コミュニティ・スクールが成長していく姿を描いた「さいたま市コミュニティ・スクール成長モデル」を作成したんだよ。その中にコミュニティ・スクールを進める大切さを「未来の学校・地域」という物語で伝えているので紹介するね。

「未来の学校・地域」

私の住む地域で、未来を担う子ども達のために、全ての大人達が教育に対して本気で向き合う、試みが始まった。そのために、大人達は学校に集いつながり、本音で意見を出し合い、時にはぶつかり合い、新しい価値を創造しながら、学校、家庭、地域の課題解決の方向性を見出していく。抱える課題はそれぞれに多様だから、マニュアルなどは見当たらない。だからとても難しいことのように思うが、大人達は自分の人生経験や得意分野を生かし、できるだけ多くの人々の参画を得て協働していく。子ども達は、果敢に課題解決に挑戦しているそんな大人達の真剣な姿を見て、自分たちも未来のために何ができるだろうかと考え、課題解決に向けて動き出す。

このように、学校を舞台として、学び合い支え合いつながることで、学校や家庭、地域に幸せがあふれ、それが幾重にも輪になって住んでいるまちが輝いていく。

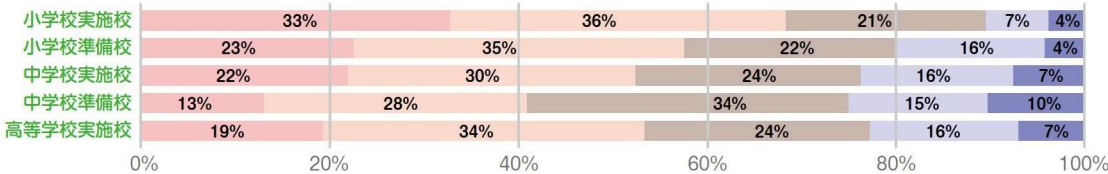
目の前の「協働」という一歩は、時を超えて未来への大きな一歩へとつながり、全ての人が豊かな人生を送ることができる地域社会を築いていく。学校は、子どもの学びの場であるだけでなく、大人の学びの場ともなっていくのだ。

コミュニティ・スクールはそんな未来をつくる重要な鍵となるかもしれない。

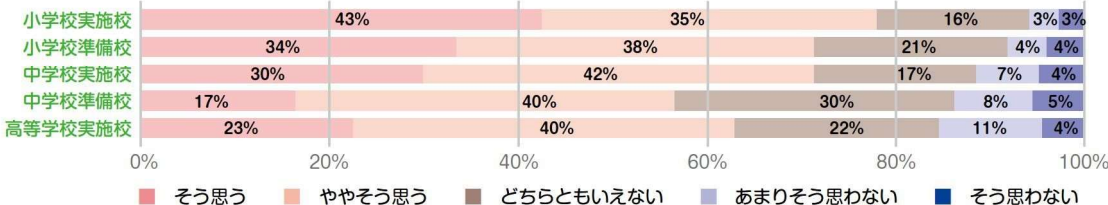
さいたま市コミュニティ・スクール実施校／準備校比較

令和3年度「さいたま市コミュニティ・スクールに関するアンケート調査」結果より一部抜粋

● 学校や地域で活躍している大人と交流し、自分もあになりたい、真似してみたいと思うことがある。



● 学校や地域の役に立ちたい。



*「スクールサポートネットワーク（地域学校協働本部）(SSN)」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関など、より幅広い地域住民等が参画し、「緩やかなネットワーク」を形成することにより、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するための体制です。